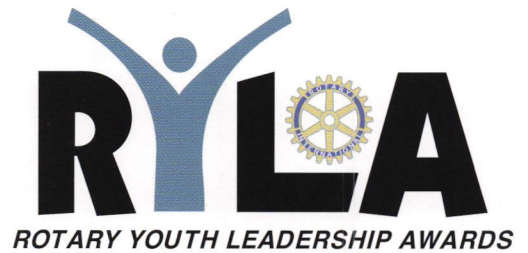


ライラとは、若い人々の中にある、指導者としての資質を啓発するとともに、青少年指導者としての知識と技術の向上を目的とするプログラムです。



## 春のライラ事業報告書



泉布観

# 「もっと知ろう大坂」、「もっと語ろう大阪」

～掘り起こそう 大坂商人のDNA～

2009年5月3日(日)～5日(火・祝)



会 場：大阪リバーサイドホテル

主 催：国際ロータリー第2660地区 ガバナー 横山守雄

ホストクラブ：大阪南西ロータリークラブ





## 2009春のライラ 大阪リバーサイドホテル

初めての都市型ライラ

大川沿いのかつて毛馬と呼ばれた歴史ある地でのライラ

シティホテルを使い色々気を遣い遣いのライラ

参加者の半数以上が海外からという国際色豊かなライラ

大阪の街の良さも悪さも見直せたライラ

その中で芽生えた友情の輪が何時までも続くように

パパもママもそして家族も一丸となって運営したライラ

そんな2009年春のライラを私たちは誇りに思います。

ホスト： 大阪南西ロータリークラブ



# 開講式・基調講演 式次第

会 場 大阪リバーサイドホテル6F ホール  
司 会 大阪南西ロータリークラブ 高山 修治

## 開 講 式

- 開会点鐘 大阪南西ロータリークラブ会長 吉中 春美
- 国家斉唱「君が代」 ソングリーダー 西川 和伸
- ロータリーソング「奉仕の理想」 ソングリーダー 西川 和伸
- 開会宣言 大阪南西ロータリークラブ RYLA実行委員長 小森 敏鑑
- 歓迎の挨拶 大阪南西ロータリークラブ会長 吉中 春美
- 主催者紹介と挨拶 RI 第2660地区 青少年活動委員長 井上 嗣仁
- ご来賓の挨拶 大阪市副市長 柏木 孝
- 主催者の挨拶 RI 第2660地区 ガバナー 横山 守雄  
RI 第2660地区 青少年奉仕部門幹事 北山 孝和  
RI 第2660地区ローターアクト委員長 辻本 一義
- 閉会点鐘 大阪南西ロータリークラブ会長 吉中 春美

## 基 調 講 演

- 講演テーマ **「再発見〈大阪〉－学問と道德の街－」**

講 師 大阪大学大学院教授 湯浅 邦弘

### ロータリーソング 『奉仕の理想』

奉仕の理想に集いし友よ 御国に捧げん我等の生業

望むは世界の久遠の平和 めぐる歯車いや輝きて

永久に栄えよ 我等のロータリー ロータリー



## 開会宣言

大阪南西ロータリークラブRYLA実行委員長  
小森 敏鑑



皆さん、こんにちは。いよいよRYLAが桜ノ宮にやってきました。今日から3日間、この大阪リバーサイドホテルにおいて春のライラが始まります。春のライラと申しますと例年能勢、北摂の山や淡輪の海での自然の中での研修プログラムが中心でした。

今回は都会のまん中で、ホテルを使つての研修プログラムとなります。場所柄色々といふ異論も出ましたが、現在の風景、光景を見ればなるほどとも思われますが、このあたり江戸時代は毛馬と呼ばれ中州で豊かな土壌に恵まれ「毛馬胡瓜」が有名で、前に流れる大川は京へ向かう大幹線で200年前は三十石船が多数往来しました。森鷗外の「高瀬船」の囚人や弥次さん、喜多さん、坂本龍馬や新撰組もこの川を使い京、大坂を行き来していました。毛馬の渡しがあった源八橋を渡れば、かつての同心町・与力町で幕府の役人の官舎があった所で、大塩平八郎はここから義挙の旗を揚げました。そしてこのリバーサイドは俳人にして画人である与謝蕪村が毛馬の閘門近くの自分の故郷近くの風景を詠んだ、漢文、俳諧、和歌を織り交ぜた近代的詩歌の先駆「春風馬堤曲」の舞台でもあります。このように多くの歴史があるのに私たちは意外とその事を知りません。特に大阪人は大阪の歴史に疎いようです。

そこで今回はこの大阪を切り口に「もっと知ろう大坂」、「もっと語ろう大阪」～掘り起こそう大坂商人のDNA～をテーマに3日間、受講生のみなさんはもちろんロータリアンの方も大阪の事を多く学んで帰っていただけるよう楽しく充実したプログラムを組みました。

また受講生の皆さんはこの3日間で多くの友人を作つて帰って下さい。さあ、それでは今より初めての都市型の2009年春のライラの開会を宣言します。

## 歓迎の挨拶

大阪南西ロータリークラブ会長  
吉中 春美



皆様こんにちは。2009年春のライラによくこそお越し下さいました。多数のご参加を頂き、本当に有難うございます。

今回のホストを務めさせて頂きます大阪南西ロータリークラブの会長の吉中でございます。

私どもがこの春のライラに取り組むに当たりまして、まず70名の受講生のご登録と430名のロータリアンの方々のご登録を目標に致して参りました所、最終的には89名の受講生の皆様をお迎えすることが出来ました。又539名ものロータリアンの方々のご登録を頂くことが出来ました。

これもひとえに国際ロータリー第2660地区横山守雄ガバナーを始め井上嗣仁青少年活動委員長、辻本一義ローターアクト委員長、地区役員、委員の皆様、そして先般の秋のライラを見事に成しとげられました、大阪なにわロータリークラブの河野会長を始め、ライラ委員会の皆様方のご指導ご支援の賜物と感謝致しております。高い所からではございますが、この場をお借り致しまして厚くお礼申し上げます。

さて、今年度の春のライラのテーマは『「もっと知ろう大坂」「もっと語ろう大阪」一掘り起こそう大坂商人のDNAー』であります。

大阪はかつて江戸時代「天下の台所」と呼ばれ、米を中心に諸国の特産物が集まり、物流、商業の中心地でありました。世界で初めて商品の先物取引所が出来、世界でも有数の経済都市でした。

幾多の経済危機を克服して明治維新の財政的基盤を支えことが出来ましたのも、この大坂商人のもつ勤勉性と向学心、それにロータリーの職業奉仕とも連なる公共心に裏付けされた倫理観だと思えます。

大坂商人に脈々と受け継いでこられた商道德、公德心は明治の産業革命、近代産業の成立の折にも多くの起業家に生かされ続け、この大阪から世界に通じる大企業が多く出ました。

今春のライラは大坂商人の商道德という精神性を主要なテーマに、その時代の大坂の中心でありました天満に近いこの大阪リバーサイドホテルを活用して、都市型の歴史から学ぶ「温故知新」のライラにしたいと言う思いからプログラムの作成に取り組んで参りました。この開講式のあとの講演では、享保年間にできました官製ではない町民自らが主催する「懐徳堂」に関する著書を多数ご出版されていらっしゃいます、大阪大学の湯浅邦弘教授に「再発見〈大阪〉一学問と道德の街」というテーマで基調講演をお願いいたしております。このライラの趣旨に沿った素晴らしいご講演を承れることを確信いたしております。

又他にも多くのプログラムを用意いたしておりますので、本日までご出席のロータリアンの皆様も出来ますれば是非ご一緒に楽しんで頂きたく存じます。そして青少年の皆様にはこの3日間、寝食を共にして研修や討論そして発表等、このライラを通して多くの友人を作り、グループ活動の中で人間関係を学び、視野を広げ、またロータリーとは何かを学んで頂ければ幸いです。

最後になりましたが、本日ここにご出席の皆様方のますますのご健康と今後一層のご活躍をお祈り申し上げますと共に、関係各位のご尽力に対しまして改めましてお礼申し上げます、甚だ簡単ではございますが私の歓迎のご挨拶とさせていただきます。有難うございました。



## 主催者紹介と挨拶

国際ロータリー第2660地区 青少年活動委員長  
井上 嗣仁



本日は春のライラにロータリアンの539名の登録及びご参加、又受講生も89名も集まって頂き有難うございます。

今までにない500を超えると言う登録には大阪南西ロータリークラブの努力、IM 7組ガバナー補佐・岩津様のご協力のおかげだと思っております。感謝申し上げます。

今回は「もっと知ろう大坂」「もっと語ろう大阪」～掘り起こそう大坂商人のDNA～ というテーマで、ライラを実施いたします。

このRYLAとは、皆様受講生にとっては聴きなれない言葉だと思いますがRotary Youth Leadership Awards の頭文字を取ってRYLAと呼んでいます。日本では「ロータリー青少年指導者育成プログラム」と訳されています。

ロータリーが行なっている多くのボランティア活動の中でも、1971年に国際ロータリー理事会で採択された青少年活動プログラムのひとつです。

ロータリーとは世界200以上の国と地域に約120万人の会員を有する集まりで、世界平和の為に奉仕活動を行なっている団体です。このライラもそのひとつの奉仕活動です。

今回は実体験を通じて、リーダーとして必要な人間関係向上を計ることを目的とした体験型セミナーを実地いたします。今回は新世代部門より米山奨学生交換留学生を始め多くの外国の方が参加され、国際交流・文化交流も交えてどうぞ楽しく友好を持って3日間を過ごして頂き、リーダーとなる為には何が必要かを身に付けてください。そして、このライラを企画運営にホストをして頂く大阪南西ロータリークラブ、チームライラ、大阪リバーサイドホテルの皆様方には素晴らしいライラの準備をして頂きお礼申し上げます。

最後に、今、新型インフルエンザが世の中で流行っています。今回は野外のプログラムが多いので、マスク着用で行動してください。

## ご来賓の挨拶

大阪市副市長（平松市長祝辞代読）

柏木 孝



国際ロータリー第2660地区主催の春のライラが開催されますことをお慶び申し上げますと共に、皆様方には普段から大阪市政に確固たるご協力・ご支援を賜りますことを心から厚くお礼申し上げます。近年東京一極集中が進む中、相対的に地方の地位は低下しており、江戸時代物資の一大流通拠点となり、国内最大の経済都市、学術文化の集結都市として発展を続けた大阪も今元気がないと言われております。

こうした中「もっと知ろう大坂」「もっと語ろう大阪」をテーマに次代を担う若きリーダーの皆様が基調講演、視察を通じて大坂商人の公德心とそれに支えられた大阪の町について知識を深められ、これからの街づくりについて共に語られるますことは、私ども大阪市にとっても心強い限りであり開催に携われた皆様方に深く敬意を表します。

また、この度のプログラムでは大川のクルージングや国の重要文化財である「泉布観」の見学も予定されているとのことであり、われわれが世界に誇る水の都である大阪の歴史や景観への関心を高められますことを期待しております。大阪市は8月から10月にかけて水の都2009を開催します。多くの皆様のご参加により大阪の街を元気にもっと魅力的にしていきたいと存じておりますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

本日から始まる春のライラが実りの多いものになりますよう、国際ロータリー第2660地区のますますの御発展と皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

大 阪 市 長      平 松 邦 夫



## 主催者の挨拶

国際ロータリー第2660地区 ガバナー  
横山 守雄



大阪南西ロータークラブの吉中会長・高山幹事・小森ライラ実行委員長を始め会員の皆様が、2009年春のライラ開催にあたり、ホストクラブとして長い時間をお掛けになり、鋭意ご準備くださいましたことに心から感謝申し上げます。

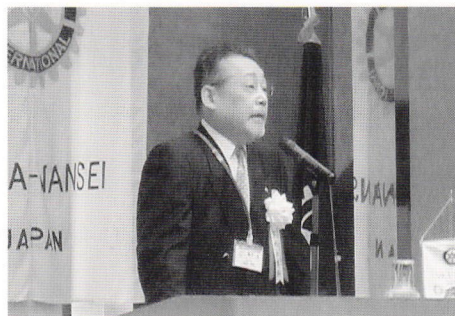
本年度、春のライラは「もっと知ろう大坂」、「もっと語ろう大阪」というテーマの下で、江戸時代の大坂商人の商道德を参加者の若人とロータリアンが共に学ぶ機会にされましたことに心から敬意を表したいと存じます。

大坂は江戸時代に米取引の市場が設けられ、商業と流通の拠点であったことは歴史書に記されておりますが、大坂商人が高い商道德を重んじて自らの向上心に励んでいたことはあまり知られておりません。基調講演者の湯浅邦弘先生の「再発見〈大阪〉－学問と道德の街－」というお話を中心に、春のライラ参加者が大阪の素晴らしい歴史と将来の展望について語り合うことは、特にいま世界経済も、日本経済も混迷を深めている時だけに、時宜を得たテーマになることと存じます。

大阪南西ロータークラブの皆様がスポンサーされます「2009年春のライラ」が、参加者にとりまして、楽しく、そしてまた意義あるものになりますよう、心から祈念申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

## 主催者の挨拶

国際ロータリー第2660地区 青少年部門幹事  
北山 孝和



皆さんこんにちは、只今紹介されました、今年度青少年部門幹事の北山です。

今日はよくRYLAに参加いただきました。歓迎いたします。

当地区は日本で初めてRYLAを開催した地区であります。今回で54回を迎えるわけであり  
ます。ロータリークラブは1904年の創設時より青少年に関心を持ち、育成に力を注いでまいりま  
した。

青少年の皆様も今回の参加によりロータリーとは何かを学んで下さい。いろいろな職業人の  
集まりであるロータリークラブより吸収されることも多々あると思います。

従来RYLAはどちらかと申しますとキャンプ方式のRYLAを実行してきましたが、今回は都  
市型のRYLAで大変興味深いRYLAとなっております。

都市型RYLAで何を学んで帰るか、どのような経験を積むのか、楽しみにしてして下さい。

また、青少年と共にロータリアンが、ロータリーパパとして一緒に行動いたします。ロータ  
リアンとの2泊3日も良い勉強になると思います。これは、お互いです。ロータリアンも皆様  
の若い考え方、行動に感銘を受ける事になると思います。

今回は初級RYLAであり、より高度な上級RYLAのプログラムも用意しております。今回の  
RYLAで友達を多く作り、秋の上級RYLAにも参加して下さい。

ロータリーは親睦で始まり親睦で終わると言われております。RYLAは一夜にして親睦が熟  
成されます。今回参加の皆様方がRYLA終了時には友達の輪が出来上がっていることを期待し  
ております。

今回RYLAをご準備していただきました、ホストクラブの大阪南西ロータリークラブの吉中  
会長、小森実行委員長、メンバー皆様、本日ご参加のロータリアンの皆様に厚く御礼申し上げ  
ます。

また、この3日間ご苦勞様ですが宜しくお願いを致しましてご挨拶に替えさせていただきます  
。本日は誠にありがとうございました。



## 主催者の挨拶

国際ロータリー第2660地区 ローターアクト委員長  
辻本 一義



国際ロータリー当地区の恒例になっていますライラが、今回も大阪南西ロータリークラブのホストで多くの方々の参加を得て行われますことを大変嬉しく存じております。

特に今回は、大阪リバーサイドホテルを会場とし、大阪をもっと知るために、大川のクルージング、落語観賞、大阪探訪などの過去のライラとは非常に趣向を変えた内容となっており、大変ユニークでロータリーの当地区に相応しいものであると感じております。

私が当地区にあって担当しておりますローターアクトからも、いつもの通り多くのメンバーが今回のライラに参加し、ローターアクト以外の多くの青年男女と共にこの事業を通じていろんなことを経験し、学べたことを非常に有意義であると嬉しく思っています。ローターアクトのメンバー諸君は、若者らしく好奇心・吸収欲が旺盛で、今回のユニークなライラの内容から多くのものを得て成長すると期待しております。

ローターアクトは地区内に20クラブ（約250名）が存在し、メンバーは所属各クラブの活動と共に地区の活動にも参加し、日常的に例会や奉仕活動や研修を行っているのに対し、ライラは秋と春の年2回に参加者を募集して3日間集中的に実行する点で異なります。しかし、ライラもローターアクトも、共に18歳～30歳の青年男女が対象である点、さらに共に社会に於ける将来のリーダーを育成するというプログラムの考え方が共通であります。

従って、今回のライラが有意義な内容で行われることを高く評価すると共に、これからも当地区にあって、ライラが大きな成果を挙げて行われ続けることを期待しております。

ホストの大阪南西ロータリークラブの皆様は役目を十分に果たしております。開会に至る本日迄のご苦勞に感謝致します。

# 基調講演

## 講演テーマ

「再発見〈大阪〉—学問と道德の街—」

## 講師

大阪大学大学院文学研究科教授 湯浅 邦弘氏



## 経歴

1957年 島根県出雲市生まれ  
1983年 大阪大学大学院文学研究科修了。博士（文学）  
北海道教育大学講師、島根大学助教授、  
大阪大学助教授を経て、  
2000年より現職

## 専攻

中国古代思想史の研究、および大阪学問所「懐徳堂」の研究。  
懐徳堂に関する著書に

『江戸時代の親孝行』  
（編著、大阪大学出版会、2009年）

『懐徳堂研究』  
（汲古書院、2008年）

『懐徳堂辞典』  
（共編著、大阪大学出版会、2001年）

中国思想に関する著書に

『諸子百家』  
（中公新書、2009年）

『戦いの神—中国古代兵学の展開—』  
（研文出版、2007年）

『よみがえる中国の兵法』  
（大修館書店、2003年）

『墨の道 印の宇宙—懐徳堂の美と学問—』  
（大阪大学出版会、2008年）

『懐徳堂の歴史を読む』  
（共編著、大阪大学出版会、2005年）

『孫子・三十六計』  
（角川ソフィア文庫、2008年）

『諸子百家〈再発見〉—掘り起こされる古代中国思想—』  
（共編著、岩波書店、2004年）

『中国の夢判断』  
（訳書、東方書店、1997年）

## 講演要旨

「食の街」、「お笑いの街」—。他府県の人々が抱く大阪のイメージは、このようなものでしょうか。さらに加えれば、「がめつい商人の街」。いずれにしても、あまりいいイメージではありません。

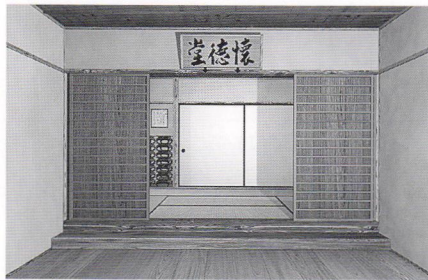
しかし、江戸時代にさかのぼって考えてみれば、大坂が最先端の学問の街であることがわかります。また、江戸や京都と違って、商人の支える活気ある自由な街であったこともわかります。

その商人たちの倫理道德はどのように作り上げられたのでしょうか。実は、江戸時代の中ごろ、大坂には「懐徳堂」という学校が商人たちの出資によって建てられ、大坂の市民大学となっていました。

この講演では、懐徳堂と、そこに学んだ商人たちの姿を振り返り、食の街、お笑いの街とは異なる大阪のイメージを再発見してみたいと思います。



## 懐徳堂の創設



CGで再現した懐徳堂玄関

1724年（享保9年）、時は八代将軍徳川吉宗<sup>よしむね</sup>の頃です。大坂の有力町人が学者を招き、「懐徳堂」を創立しました。初代の学長として迎えられたのは、三宅石庵<sup>いせきあん</sup>（1665～1730）。彼は、中国古典の言葉にもとづいて学校の名前を「懐徳堂」と名付けました。『論語』に見える「君子は徳を懐<sup>おも</sup>う」に基づくとされます。君子（立派な人格者）、はまず何よりも、自己の内面の道徳性に思いを致す、という意味です。

この学校に町人たちが求めたのは、何も、ビジネスや利殖の話ではありません。商業活動の前提となる倫理道徳の重要性でした。当時、学校と言え、江戸の昌平坂<sup>しやうへいざか</sup>学問所や各藩の藩校があるばかり。そう

した中で、大坂では、自らの力によって学校を設立したのです。

## 懐徳堂の精神

その精神はどういうものだったのでしょうか。現在の校則にあたる「定書<sup>さだめがき</sup>」が残っています。それによれば、懐徳堂では、学生たちは「貴賤貧富<sup>きせんひんふ</sup>を論ぜず同輩」とされていました。これは、士農工商という当時の厳格な身分制度を考えると、とても画期的なことでしょう。教育の平等という現代の理念を先取りするかのよ

うな崇高な理念です。また、第四代の学長中井竹山<sup>なかつたけやま</sup>（1730年～1804年）は、こう言っています。「学校の衰えは世の衰<sup>おとろ</sup>える基」と。教育は国家百年の計。学校とは単なる教育機関ではないのです。学校の衰退がそのまま世界の衰退になる。逆に言えば、国家の繁栄は学校次第<sup>にやうとくもんれん</sup>ということ。



入徳門聯

さらに、「入徳門聯」も注目されます。これは、竹山の頃、懐徳堂の庭に通ずる門にかけられていたものです。左右対称の竹に對句の漢文をしるしています。まず「学に力めて以て己を修む」。しっかりと勉強して自己修養に努めるという意味です。そして次の段階。「言を立てて以て人を治む」。自己修養の結果得られたものをきちんと世の中に向かって発言し、社会の役に立っていくという意味。内から外へという方向性を持っています。

人はとかく自分のことを棚に上げて人のことをあれこれといいます。しかし、まず重視すべきなのは、自分自身の内面性。そして、それが一応完成したら、今度はそれを社会に還元していく。そうした精神です。これは、もともと中国の儒教に基づく人生観・社会観ですが、同時に、ロータリークラブの活動を支える基本精神にも連なるでしょう。

## 懐徳堂の学問

ところで、懐徳堂の学問は、漢学だけだったのでしょうか。当時の学問の基本は、中国伝来の漢文を読むということでした。懐徳堂も例外ではなく、まずは、この漢文をしっかり読み、精神を修養し、すぐれた研究を行うことを基本としていました。

ところが懐徳堂には、今ひとつ、現代の自然科学につながるような業績も多く残されています。竹山の弟履軒<sup>りふけん</sup>（1732年～1817年）が作成した天体模型や人体解剖図などがそれです。「天図」という天体模型は、天道説と地動説を折衷したような天体観を示しており、その弟子の山片蟠桃<sup>やまがたばんとう</sup>はこれを継承して地動説を唱えました。

また、人体解剖図説『越俎弄筆<sup>えつそろうしつ</sup>』は、科学的見地から人体の解剖図十六枚を掲げて解説したもので、有名な杉田玄白らの『解体新書』より一年前に著されました。

現代の学問は、文系・理系という枠組みで区分けされてしまっていますが、懐徳堂では、漢字漢文の研究を通じて、この両方に目配りをしていたのです。

## 懐徳堂の再興の現在

江戸幕府の崩壊とともに懐徳堂も閉校を迎えます。百四十余年の歴史に幕が下ろされたのです。しかし、それから約四十年の後、懐徳堂を復興しようという動きが出てきます。近代化を急いだ日本。置き去りにしたものがあつたことにより気づいたのです。それが、懐徳堂の精神でした。1916年（大正5年）、懐徳堂が再建され、大阪の市民大学として活動を始めます。この建物は、1945年（昭和20年）の大阪大空襲によって焼失してしまいます。しかし、戦災を免れた資料5万点が、現在、大阪大学に保存されています。200年以上の時を超えたこれらの資料は、現代社会にとって何が重要であるかを静かに語っています。そして、懐徳堂の歴史は、食の街、お笑いの街とは異なる大阪のイメージをわたしたちに伝えてくれます。

# 春のRYLA（初級コース）スケジュール

於 大阪リバーサイドホテル

| 時間    | 5月3日(日)                                   | 5月4日(月)                                   | 5月5日(火)            |
|-------|---|---|--------------------|
| 7:00  |   | 起床<br>朝の集い                                | 起床<br>朝の集い         |
| 8:00  |   | 朝食(班単位)                                   | 朝食(班単位)            |
| 9:00  |   | 実習<br>泉布観 見学<br>周辺散策                      | 実習<br>テーマ討論        |
| 10:00 |   | 実習<br>フォトラリーに向けて準備                        | 実習<br>グループ発表に向けて準備 |
| 11:00 |   |   |                    |
| 12:00 | 受付  | 昼食(班単位)                                   | 昼食(班単位)            |
| 13:00 | 開講式                                       | 実習<br>フォトラリー                              | グループ発表             |
| 14:00 | 基調講演                                      |   |                    |
| 15:00 | 15:30 オリエンテーション                           |   | 閉講式<br>解散          |
| 16:00 | 移動 チェックイン                                 |   |                    |
| 17:00 | 17:00 集合 船着場へ移動<br>17:30 クルージング           | フリータイム                                    |                    |
| 18:00 | 18:30 クルージング終了<br>ホテルへ向けて移動               | 実習<br>落語 林家 染雀                            |                    |
| 19:00 | 夕食  | 夕食(懇親会)<br>フォトラリー結果発表                     |                    |
| 20:00 | グループタイム                                   |   |                    |
| 21:00 | リーダー会議<br>出席者:各班リーダー・ロータリーパパ<br>TEAM-RYLA | リーダー会議<br>出席者:各班リーダー・ロータリーパパ<br>TEAM-RYLA |                    |
| 22:00 | 22:30 消灯・就寝                               | 22:30 消灯・就寝                               |                    |

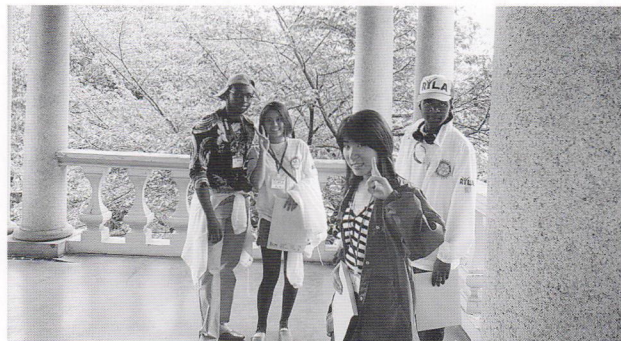
国際ロータリー第2660地区青少年活動委員会



## 泉布観



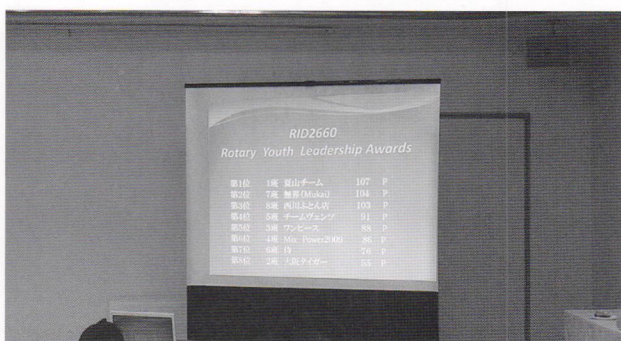
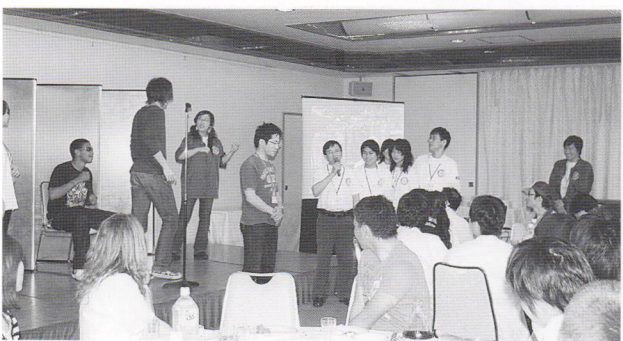
泉布観は明治4年（1871年）、造幣局の応接所として建てられた現存する大阪最古の洋風建物。設計は英国人技師のウォートルス。明治天皇が明治5年に行幸され、泉布観の名称はその際天皇により命名された。「泉布」は貨幣、「観」は館を意味する。明治時代を通して数々の皇族や外国からの要人を迎え入れた。



## クルージング



## 落語会、フォトラリー発表

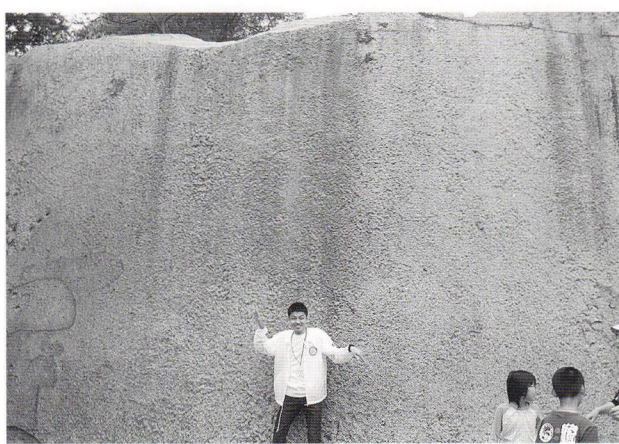




# フォトラリー

各班に大阪市内の名所を渡し、4時間で出来る限り多くの名所を訪ね、あらかじめ与えられた写真と同じ風景を撮ってくる。

彼らが観た大阪

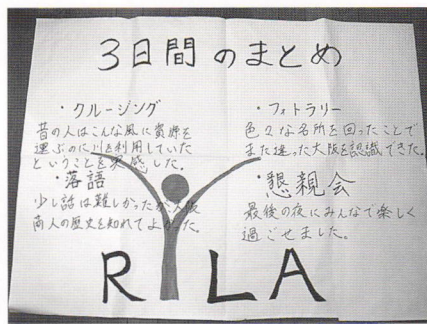
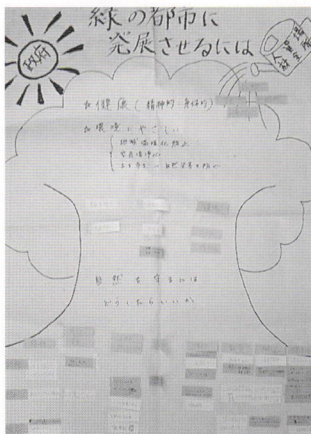








# 1 班 (夏山チーム)



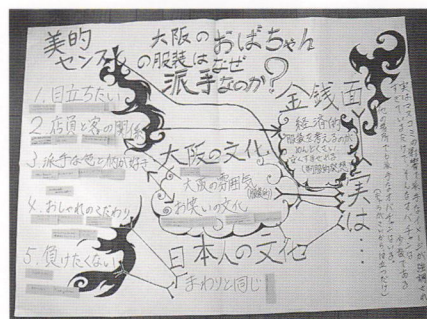
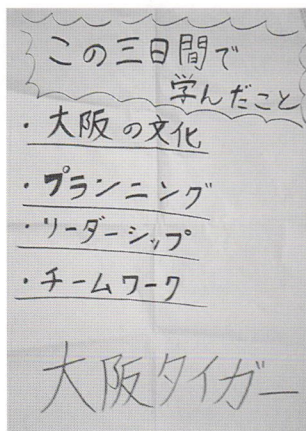
## メンバー

- ベアトリックス・グードリック
- 山崎 正美
- 山崎 博美
- イサエバ・タチアナ
- 孟 燕
- 梁 国寧
- 瀬貫 将也
- 夏山 聖吾
- 堀江 信之
- リム・メントーン
- 慮 奕安

## 野々原喜久夫パパ

フォトラリーでは、南港で食博が開かれていて満員で電車に乗れない事態になりましたが、受講生が携帯で時刻表を調べ、定刻に戻ることが出来ました。外国人の受講生は真面目で、熱心で日本に対する思いに溢れていました。

# 2 班 (大阪タイガー)



## メンバー

- 松 一正
- 益田 勇樹
- 安平 裕太郎
- 横山 将太郎
- 前田 篤志
- ドミニガス・エデュアルド・アルトゥロ
- ベル・マガラウィ・ウィサム
- 邵 忠華
- 王 婉怡
- 黄 琢玉
- 任 朵芙

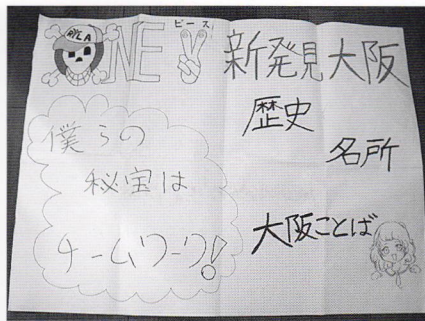
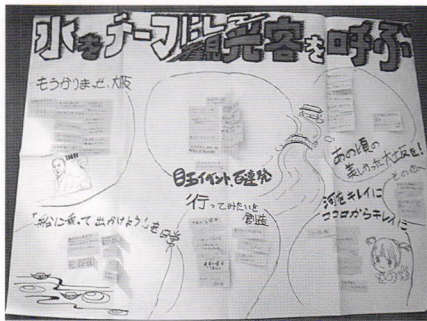
## 南 樹一パパ

フォトラリーは一心寺、四天王寺などを廻り、一番に到着したのですが成績発表では最下位でがっかりしました。

大阪に住んでいながら、行ったことのない名所、旧跡を廻ることができ勉強になりました。



### 3 班 (ワンピース)



#### メンバー

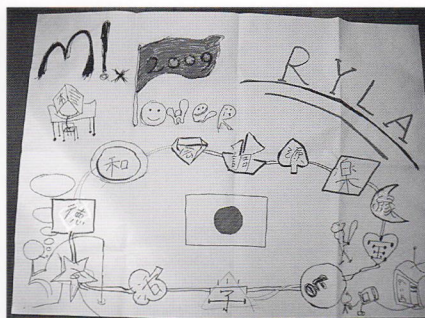
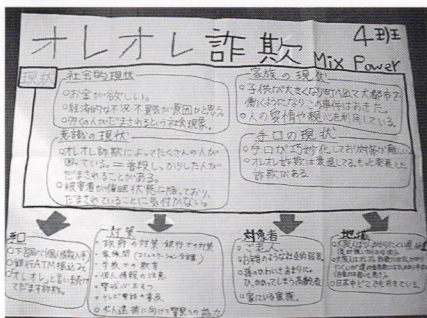
- 長谷川 恵
- 堀内 梨花
- アルファニ・サミ・アブドゥルガニ
- 河行 健治
- 有村 暁一
- 蔡 玥
- 鄭 莉
- アルカシム・アラー・アブドゥッラ
- 藤田 高宏
- 安心院 誠
- 張 鑫



#### 小池廣子ママ

私は女性ということで、不安でしたが、中国の女性3名が色々お手伝ってくれて助かりました。やんちゃなサウジアラビアの男の子も、話してみると好青年でした。貴重な、いい経験をさせていただいて感謝しております。

### 4 班 (Mix power 2009)



#### メンバー

- 吉川 兼司
- 寺脇 大蔵
- アブル・ロザック・ラティフ・ファウザン
- 中谷 あい子
- 修 レイナ
- 小森 友喜
- 洞 恵理子
- 楊 瞳澤
- 向 東松
- 森本 秀樹
- タン・ルディ



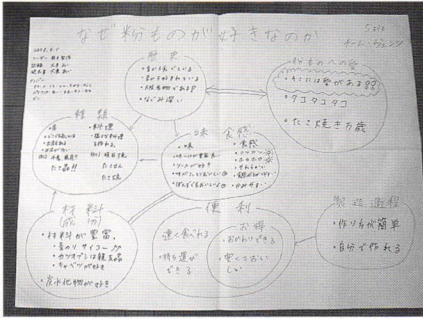
#### 上原政雄パパ

この3日間でお互い成長できたと思います。利害関係もないので純粋な気持ちで受講生と接することが出来ました。

ローターアクトの指導力と統率力には感心しました。



## 5 班 (TEAM BEN Z)



### メンバー

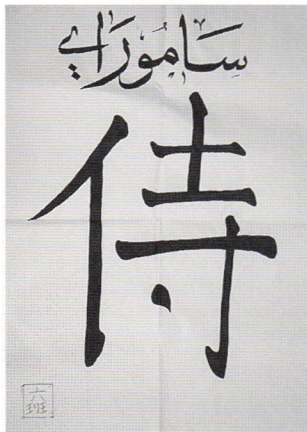
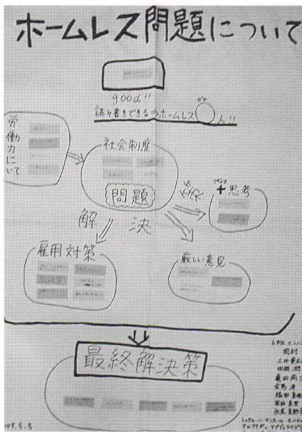
- 岡本 智浩
- 大東 あい
- セリーヌ・プロシャン
- パトリシア・ヴェンツ
- 新庄 千祐
- 稲田 洪
- 上野 哲朗
- ヴェン・タン・ビン
- カオ・バン・ズン
- タラ・デニス・ムティディア
- グエン・カン・コック



### 矢田勝利パパ

私の班は中之島近辺とミナミの繁華街でしたが、時間がなく駆け足で写真を撮るだけで、説明もできず「もっと知ろう大坂」を実践できなかったのが残念でした。受講生が、日本にどのような印象を持っているのかも聞きたかったと思います。

## 6 班 (侍)



### メンバー

- 岡村 亮
- 土井 章太郎
- 坂根 潤一
- 亀田 尚久
- 金馬 冴
- 福田 真理奈
- 若林 美里
- 永尾 美紗子
- トゥクルニ・マンスール・モハメッド
- アルナズィ・アブドゥラマッド・スレイマン
- アルヤコブ・アミン・ヒラール



### 長谷川治雄パパ

このライラの受講生の中国人女性に就職先を世話することが出来ました。その後、彼女は池田ロータリーアクトに入会しこの秋のライラに参加するそうです。こんなふうに繋がることはいいことだと思います。

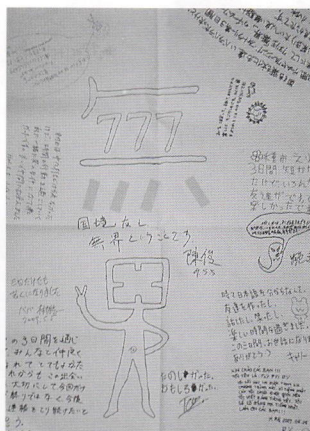


## 7 班 (無界)



### メンバー

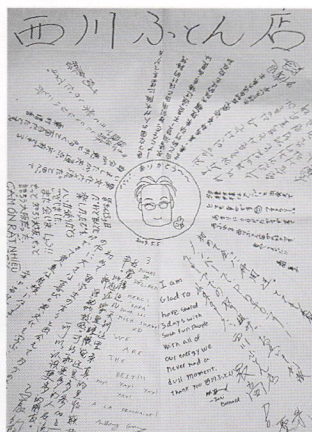
小林 勇介  
 陳 俊  
 小仲 広行  
 姚 超  
 アンバリー・フォックス  
 頼 王冠  
 小松原 浩之  
 種市 英莉  
 ゲン・タイン・ロン  
 駱 文寧  
 チャン・バン・チャウ



### 木村 聡パパ

7班は台湾、アメリカ、ベトナム、日本と様々で最初は戸惑いました。フォトラリーでコミュニケーションが取れ、課題発表では自分の得意とするところを分担し団結力が強まりました。未来のリーダーを養成するこのライラを通じて、こちらから心を開いて話しかけないと、相手も本音で話してもらえないと感じました。

## 8 班 (西川ふとん店)



### メンバー

高岡 眞子  
 ジャヒ・バーナード  
 タイ・バン・ナム  
 アントニー・オラン  
 余 相承  
 王 博超  
 栗村 晴香  
 栗田 昌紀  
 吉田 聖崇  
 中間 康智  
 馬 辰韵

### 西川和伸パパ

フォトラリーでは、地下鉄全エリアで、東西南北20箇所のポイントに行きました。ほとんどランニング状態でしたが皆元気で、逆に励まされました。特に印象に残ったのはベトナムから来た学生で帰国すれば教師になると言っていました。この経験を思い出として一生心に留めてくれることを祈ります。

# 閉 講 式 式 次 第

会 場 大阪リバーサイドホテル  
司 会 大阪南西ロータリークラブ 高山 修治

- 開会点鐘 大阪南西ロータリークラブ会長 吉中 春美
- 挨拶と修了証書授与 RI 第2660地区 ガバナーエレクト 大谷 透
- 講評 RI 第2660地区 青少年活動委員会副委員長 陶 柳之介
- ローターアクトについて RI 第2660地区 ローターアクト代表 森本 秀樹
- ライラ旗の引継ぎ 大阪阿倍野ロータリークラブ会長 辻川 圭乃
- 閉会の辞 大阪南西ロータリークラブ 会長エレクト 矢田 勝利
- ロータリーソング斉唱『手に手つないで』
- 閉会点鐘 大阪南西ロータリークラブ会長 吉中 春美

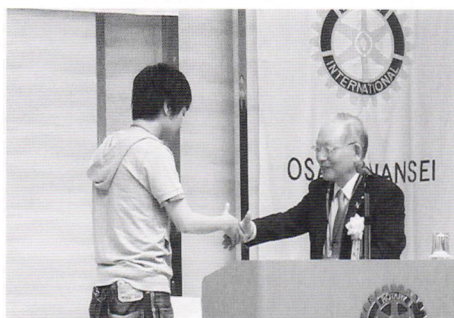
## ロータリーソング 『手に手つないで』

|                |                |
|----------------|----------------|
| 手に手つないで つくる友の輪 | 手に手つないで つくる友の輪 |
| 輪に輪つないで つくる友垣  | 輪に輪つないで つくる友垣  |
| 手に手 輪に輪        | 手に手 輪に輪        |
| ひろがれ まわれ 一つ心に  | ひろがれ まわれ 世界と共に |
| おゝ ロータリアン      | おゝ ロータリアン      |
| おゝ ロータリアン      | おゝ ロータリアン      |



## 挨拶と修了証書授与

国際ロータリー第2660地区 ガバナーエレクト  
大谷 透



ロータリーが誕生した20世紀初頭のアメリカ社会は、rolling twenty と云われ、ギャングや警察内でも賄賂が横行し、大恐慌とも重なり、商業道徳は地に落ち、「儲けのためなら手段を選ばず」といった利己主義者たちが、跳梁跋扈する社会でした。とはいっても元々アメリカ社会というのはクエーカー教徒であったPilgrim Fathers達がメイフラワー号に乗ってボストンに辿り着き、そこから広がった社会ですから、キリスト教精神が根本に存在していたのです。

従って、多くの人は日常の生活では毎日曜日には教会に行く善男善女であったわけですが、その一方で世間の常識として、「金儲けは別なんだ。」「金儲けでは奇麗事ばかり言っておれない。」「儲けのためなら少々のうそや誇張には目を瞑る。」という考え方が、特に経済的に大不況になった時代ですから、世間の常識となりつつあった時代でした。そのような時に、ロータリーの創始者達は、勇気と信念を持って敢然と職業倫理と取り組んだのです。そして Integrity「高潔さ」を Rotaryの中核をなす価値観(Core value)と位置づけたのです。そして、Ideal of Serviceをロータリーの綱領(Object)に据え、標語に“*He profits most who serves best*”を持って来たのです。

Ideal of Service の、service は serve という動詞の名詞形です。どういう動作を称してServeというかと云いますと、「人とか地域にニーズがあり、そのニーズを満たして行こうとする行為」をserveというのです。従って、serve という動作を行うためには先ずニーズを知ることが必要です。ニーズが満たされなければ、serveしたことにならないのです。

バレーやテニスで最初に打つボールをどうしてserveというかといえますと、ボール遊びをしたいというニーズがある。そして、かまえて、ボールがくるのを待っている、そのニーズを満たす行為とは、そこへボールを提供する事だから、

- ・最初にボールを提供する行為をserveと言うのです。
- ・空腹で、またはグルメを求めてレストランに来る客のニーズを満たすために食事やおいしい料理を提供する：food service 又は dinner serviceです。
- ・患者のニーズを満たす行為として医療を提供する：medical service です。
- ・市民のいろいろなニーズを満たすための行政の対応：ゴミの収集、上下水道の整備、教育行政の充実など：civil service です。
- ・キリスト教で礼拝の事をどうしてservice というのか。罪深い人間を愛し、その人間と和解したいという神のニーズがある。神のニーズとは何か。神はいけにえ(犠牲)と供え物とを喜ばたまわず、神の求めたもうものはくだけたる悔いし魂なり。という言葉が聖書に書いてありますが、即ち、神のニーズを満たす行為とは、くだけたる魂をもって、御前に、即ち、祭壇にぬかずくこと。だから、その行為をservice、というのです。Divine service といいます。

次に、Ideal とは その完成度・達成度において、最高位にランクされるもの又は事柄のことですから“Ideal of service”とは、人のニーズをよーく汲み取って、そのニーズを理想的な形で満たして行きましょう、という意味です。そして、これを生活の場すべてに於いて適用せよ



と云うのがロータリーの綱領です。そして、綱領にある四つの項目は、特にそれぞれこの事に於いてもそうなのですよ、と念を押してある文章なのです。そして、第二の項目では職業のことを取り扱っているのです。「商売では奇麗事ばかり言っておれないよ。金もうけは別だよ。」と言う事ではないのですよ、と云っているのです。職業に“Ideal of service”を適用すると云うことは：顧客の、そして従業員の、ニーズをよーく汲み取って、最もその人たちの為になるような形で、そのニーズを満たしましょう、と言う事です。従って、He profits most who serves best. というのは、顧客のニーズに応えるべく最善の努力をした者の商売が一番繁盛するのですよ、と云っているのですから、尤もな事だと理解できるのであります。

こういう事をロータリーは20世紀初めに言い出したのですが、大坂商人はすでに18世紀に商業道徳として、懐徳堂に於いて確立していたのです。だから大坂商人はprofits most 出来たわけです。大坂商人の中でも指導的地位にあった人たちは、懐徳堂で商売におけるIntegrityを学んでいたわけです。

RYLAはRotary Youth Leadership Awards で若者にリーダーとなれる資質を備えてもらおうというプログラムなのですが、リーダーの資質の中で一番大切なものは「高潔」さです。アイゼンハワー元米国大統領の言葉です。「指導者としての最高の資質とは、紛れもなく高潔さである。」指導者として求められるものは高潔さであります。

自分の恥ずかしい経験の一つ告白します。私は背が小さくて、小学校でも中学校でもいつも列の一番先頭でした。小学校を卒業して中学生になった春に、日曜など中学生の制服を脱いで私服で、遠隔地などへ遊びに行くとき、母親からは大人の料金をもらっておいて、子供料金で電車に乗ったことがあるのです。こういうのは指導者としては完全に失格です。

結局、高潔さをなくせば、人からの信頼もなくし、健全なFellowshipも持てなくなり、リーダーシップも取れなくなる。ロータリーのCore value を失う事になるのです。

もう一つ、ロータリーのCore value 中核をなす価値観に「多様性」(Diversity) と「寛容」(Tolerance) があります。いろいろな職種、階級、貧富の程度、年齢、性別、学歴、人種、宗教など「多様性」Diversity に富んだ人々が、Ideal of Serviceという理念の下に心を一つにして、ロータリーは力を発揮するのです。そして又、違った意見を認め合い、尊重し合い、「寛容」Tolerance のこころを持って異文化を受け入れ合うのが、ロータリーの力です。

懐徳堂が開校した1726年は徳川時代中期で士農工商の階級差別のはっきりした時代で、町人が武士の上座に座るといった様なことは考えすらできませんでした。

しかし、懐徳堂の校則3条に「書生の交わりは、貴賤貧富を論ぜず、同輩となすべき事」「座席等は新旧、長幼、學術の深淺を以って、推譲致さるべく候」とあり、武士や町人と云った身分によらない商都大坂の学問所として、江戸幕府にも1726年に公認されたのです。即ち、懐徳堂はその思想において、多様性と寛容というロータリーの中核となる価値観をカバーしていたのです。

大阪に懐徳堂があったことに大阪人として誇りを持つと同時に、その心を身につけていただきたい。次の年度の第2660地区のテーマ「ロータリーを身に付けよう」とはリーダーシップも含めて、ロータリーのCore valueを身に付けようということです。今回は湯浅邦弘先生より、懐徳堂の基調講演を聴き、それをその後のプログラムでfosterされたわけですから、懐徳堂の心を身に付けて頂ければ、立派なライラリアンでございます。

このようなプログラムを終了された事をCongratulation と心からお祝いを申し上げます。今から修了証書をお渡しするわけですが、その前に、一言。

このライラにホストクラブとしてご協力いた、吉中会長並びに小森実行委員長をはじめとする大阪南西ロータリークラブの方々、井上委員長をはじめ地区青少年活動委員会の方々、ローターアクトの方々、その他のご協力頂いた関係各位に心から感謝の意を表し、閉会式の挨拶とさせていただきます。



## ローターアクトについて

国際ロータリー第2660地区 ローターアクト代表  
森本 秀樹



ローターアクトクラブは、18～30歳までの青年男女が集まり、社会奉仕活動や国際奉仕活動、専門知識の開発などの活動を通して、自己能力の成長を目指す団体です。

第2660地区のローターアクトクラブは、大和川より北部の地域に20クラブ、250名が活動をしています。全国では450前後、全世界では7000以上のクラブが存在し、活動・活躍しています。

地区、各クラブの活動、行事としては地域のクリーンハイク、献血PR活動、チャリティーバザー、市民祭りへの参加、海外研修などがあります。

また各クラブ、毎月2回の定例会を行っています。例会では、各々が興味を持つ事柄について楽しく学んだり、国際社会や地域社会へ貢献できる企画を考案・実行していきます。

このような活動を通して学生、様々な業種の社会人、また普段ならお話する機会はないであろうロータリアンの方々と出会い、交流を持つことによって自分自身の勉強となり成長することができます。今回のライラの参加者で、学生の方は是非学生の若い時から、社会人の方は今から入会して自分を磨くべきだと思います。

今回皆さんは、何かの縁で出会い、ロータリークラブ、ローターアクトクラブという団体を知りました。その縁を大切に、まずは少し時間を作って、どんな活動、例会をしているのか見ては如何でしょう。少しでも興味がある方は、ネット検索で「RAC2660」を入力して地区のホームページを見て頂き、お近くのクラブ又は曜日時間が合うクラブに参加してみてください。

ご紹介までですが、残り1ヵ月を切りましたが、ローターアクト地区年次大会が5月31日(日)梅田スカイビルにて行われます。

地区年次大会とは、地区や各クラブが1年間行ってきた活動の報告や表彰の場、30歳を迎えた会員の卒業式、メインプログラムを行う大会です。

まだまだ登録をお待ちしておりますので、1人でも多くのロータリアンの皆様、今回参加された皆様に参加して頂けますようよろしくお願い申し上げます、私からのPRとさせていただきます。



## 講評

国際ロータリー第2660地区 青少年活動委員会副委員長  
陶 柳之介



「もっと知ろう大坂」「もっと語ろう大阪」－掘り起こそう大坂商人のDNA－をテーマに、大阪南西ロータリークラブのホストにより2泊3日間をここ大阪リバーサイドホテルで2008－2009春のライラを開催いたしました。

大阪をテーマとした基調講演、クルージング・フォトラリーを通じての大阪再発見、また落語を通じた大阪の歴史、そしてKJ法を使用した大阪に関する時事問題の解決法等を体験していただきました。

初めて皆さんを見た時、バラバラに見えていたチームでしたが、昨日のフォトラリーを機に、チームワークが見えるようになってきました。そして本日のKJ法において、見事なチームワークが取れているなあと感じました。大変うれしく思います。

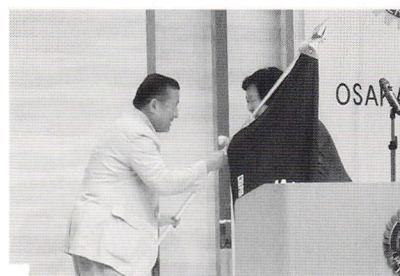
この3日間で経験したことを、これからの人生に活かしていただきたいと思います。

またこのライラは、秋と春に行っています。次回の秋のライラはもうひとつ上の上級ライラというのがあります。興味があればロータリーパパに相談して下さい。きっと良い経験が出来ると思います。

最後に登録していただいたロータリアン、大阪南西ロータリークラブの皆様、そしてチームライラ諸君のお陰で無事春のライラが終了出来たこと、本当にありがとうございました。

## ライラ旗の引継ぎ

大阪阿倍野ロータリークラブ会長  
辻川 圭乃



2009年～2010年度の国際ロータリー第2660地区の秋のライラのホストを務めさせていただきますこととなりました。

テーマは 「リーダーの人間力」

開催日は 2009年10月10日（土）～10月12日（月・祝）

です。昨年に引き続きまして、関西大学と連携し、同大学高槻キャンパスをお借りして行う予定です。現在、同大学とも綿密な打ち合わせを重ねながら、準備にいそしんでいるところです。当クラブは会員20名程度の小さなクラブですが、武田秀孝実行委員長を中心に全員一丸となって取り組んでいく所存です。

どうか、一人でも多くの会員の皆様に登録していただき、一人でも多くの若い方たちにご参加いただきますよう、お力添えのほどよろしくお願い申し上げます。



## 閉会の辞

大阪南西ロータリークラブ 会長エレクト  
矢田 勝利



受講生の皆様、春のライラ終了証書を授与されまして誠にありがとうございます。

三日間、本当にお疲れ様でした。大川でのクルージング、そしてフォトラリーで大阪の史跡や歴史の舞台を巡り大阪の歴史や文化に触れられ、春のライラのテーマであります「もっと知ろう大坂」「もっと語ろう大坂」を実践できたでしょうか？

フォトラリーでのグループ活動、サークル活動の結果を舞台上で発表されましたが、好意と友情をはぐくみ、真実かどうかを考えることが出来たでしょうか。

春のライラがこの様に盛会に開催できましたことは、会場の皆様とともにご同慶に存ずる次第でございます。これも偏に5月3日、4日、5日と公私共にご多忙中にもかかわらず御出席戴きましたロータリアンの皆様、及び会場の皆様のご理解の賜物であると存ずる次第であります。

本会を開催するにあたりまして、第2660地区本部役員の皆様には一方ならぬご指導とご援助を賜りましたことを心より厚く御礼を申し上げます。又、チームライラの皆様には会の運営にあたりまして、格別のご指導とご配慮を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

開催中、不行き届きの点が多々あったことと存じますがどうかお許しを賜りますようお願い申し上げます。

大阪南西ロータリークラブの会員の皆様方、ご家族の皆様方、この春のライラに心魂をそそいで戴きました事に、衷心より厚く御礼を申し上げますと共に深い敬意を表します。

終わりに臨みまして、次回の秋のライラ開催のホストクラブは大阪阿倍野ロータリークラブ様でございますが、秋のライラの御成功と会場の皆様方の今後のご多幸とご健康を御祈念申し上げます。閉会のご挨拶とさせていただきます。



## 2009年 春のライラ受講生一覧表

89名

| 氏 名                  | 推薦クラブ     |
|----------------------|-----------|
| 長谷川 恵                | 大 阪 う つ ぼ |
| 高 岡 真 子              | 大 阪       |
| グエン・カン・コック           | 大 手 前     |
| 松 一 正                | 大 阪 北     |
| 堀 内 梨 花              | 大 阪 城 東   |
| パトリア・ヴェンツ            | 大 阪 心 斎 橋 |
| 金 馬 冴                | 吹 田 江 坂   |
| 若 林 美 里              |           |
| 永 尾 美 紗 子            |           |
| 福 田 真 理 奈            |           |
| 稲 田 洪                |           |
| 上 野 哲 朗              |           |
| 岡 本 智 浩              |           |
| 小 仲 広 行              | 吹 田 西     |
| 小松原 浩 之              |           |
| 小 林 勇 介              |           |
| ジャヒ・バナード             | 摂 津       |
| タイ・バン・ナム             | 千 里       |
| セリーヌ・プロシャン           | 高 槻 西     |
| アントニー・オラン            | 大 阪 天 王 寺 |
| ア・バリー・フォックス          | 大 阪 天 満 橋 |
| 山 崎 正 美              | 大 阪 東 南   |
| 山 崎 博 美              |           |
| 岡 村 亮                | 中 之 島     |
| 土 井 章 太 朗            |           |
| 坂 根 潤 一              |           |
| 種 市 英 梨              | な に わ     |
| タラ・デニス・ムエディア         | 大 阪 難 波   |
| アルアズィ・アブドウラマジド・スレイマン |           |
| アブドル・ラザック・ラティフ・ファウザン |           |

| 氏 名                | 推薦クラブ     |
|--------------------|-----------|
| トゥクルーニ・マンスール・モハメッド | 大 阪 難 波   |
| アルヤコブ・アミン・ヒラール     |           |
| 粟 村 晴 香            | 大 阪 西     |
| 前 田 篤 志            | 寝 屋 川     |
| 栗 田 昌 紀            | 東 大 阪     |
| 吉 田 聖 崇            |           |
| 中 間 康 智            |           |
| イサエバ・タチアナ          | 東 大 阪 東   |
| 吉 川 兼 司            |           |
| 寺 脇 大 蔵            |           |
| ドミンガス・エデアルド・アルトゥロ  | 大 阪 東 淀   |
| ベル・マガラウィ・ウィサム      |           |
| セン・コン              |           |
| アルカシム・アラー・アブドゥッラ   | 枚 方       |
| 新 庄 千 裕            |           |
| 大 東 あ い            |           |
| 駱 文 寧              | 大 阪 御 堂 筋 |
| タン・ルディ             |           |
| 森 本 秀 樹            | 大 阪 南     |
| ベアトリック・グードリック      | 茨 木 西     |
| 孟 燕                | 大 阪 南 西   |
| 梁 国 寧              |           |
| 中 谷 あ い 子          |           |
| 修 レイナ              |           |
| MD アティック・ウル・イスラム   |           |
| 邵 忠 華              |           |
| 余 相 承              |           |
| アルファタニ・サミ・アブドゥルガニ  |           |
| 頼 王 冠              |           |
| 小 森 友 喜            |           |



## チームライラ

9名

| 氏名         | 推薦クラブ |
|------------|-------|
| カオ・バン・ズン   | 大阪南西  |
| ヴェン・タン・ビン  |       |
| チャン・バン・チャン |       |
| グエン・タイン・ロン |       |
| 瀬 貫 将 也    |       |
| 夏 山 聖 悟    |       |
| 堀 江 信 之    |       |
| 益 田 勇 樹    |       |
| 安 平 裕 太 郎  |       |
| 横 山 将 太 郎  |       |
| 盧 奕 安      |       |
| 河 行 健 治    |       |
| 有 村 晁 一    |       |
| 王 婉 怡      |       |
| 任 朵 芙      |       |
| 蔡 玥        |       |
| 黄 琢 玉      |       |
| 张 鑫        |       |
| 郑 莉        |       |
| 马 辰 韵      |       |
| 王 博 超      |       |
| 姚 超        |       |
| 陈 俊        |       |
| 杨 瞳 泽      |       |
| 向 东 松      |       |
| 藤 田 高 宏    |       |
| 安心院 誠      |       |
| 亀 田 尚 久    |       |
| 洞 恵 理 子    |       |

| 氏名      |
|---------|
| 市 橋 與 宜 |
| 山 本 浩   |
| 水 谷 光 英 |
| 宮 川 翼   |
| 高 橋 洋 子 |
| 李 落 落   |
| 新 田 恭 子 |
| 山 本 史 子 |
| 大 西 麻 容 |

## ロータリーパパ・ママ

8名

| 班   | 氏名      |
|-----|---------|
| 第1班 | 野々原 喜久夫 |
| 第2班 | 南 樹 一   |
| 第3班 | 小 池 廣 子 |
| 第4班 | 上 原 政 雄 |
| 第5班 | 矢 田 勝 利 |
| 第6班 | 長谷川 治 雄 |
| 第7班 | 木 村 聡   |
| 第8班 | 西 川 和 伸 |



## 青少年・ロータリアン クラブ別登録一覧表

| クラブ名    | 青少年 | ロータリアン | 登録数 |
|---------|-----|--------|-----|
| 大阪阿倍野   |     | 19     | 19  |
| 池田      |     | 4      | 4   |
| 池田くれは   |     | 3      | 3   |
| 茨木      |     | 1      | 1   |
| 茨木西     | 1   | 3      | 4   |
| 茨木東     |     | 2      | 2   |
| 大阪イブニング |     | 3      | 3   |
| 大阪うつぼ   | 1   | 13     | 14  |
| 大阪梅田    |     | 5      | 5   |
| 大阪梅田東   |     | 3      | 3   |
| 大阪      | 1   | 4      | 5   |
| 大阪大手前   | 1   | 3      | 4   |
| 大阪大淀    |     | 3      | 3   |
| 大阪柏原    |     | 2      | 2   |
| 交野      |     | 1      | 1   |
| 門真      |     | 1      | 1   |
| 大阪北     | 1   | 3      | 4   |
| 大阪北梅田   |     | 3      | 3   |
| くずは     |     | 3      | 3   |
| 香里園     |     | 3      | 3   |
| 大阪咲洲    |     | 3      | 3   |
| 四条畷     |     | 3      | 3   |
| 大阪城東    | 1   | 1      | 2   |
| 大阪城南    |     | 1      | 1   |
| 大阪城北    |     | 64     | 64  |
| 新大阪     |     | 3      | 3   |
| 大阪心斎橋   | 1   | 10     | 11  |
| 吹田      |     | 2      | 2   |
| 吹田江坂    | 7   | 2      | 9   |
| 吹田西     | 3   | 1      | 4   |
| 大阪住之江   |     | 3      | 3   |
| 大阪住吉    |     | 4      | 4   |
| 大阪西南    |     | 32     | 32  |
| 大阪西北    |     | 3      | 3   |
| 摂津      | 1   | 1      | 2   |
| 大阪船場    |     | 14     | 14  |
| 千里      | 1   | 3      | 4   |
| 千里メイプル  |     | 3      | 3   |
| 大阪そねぎ   |     | 8      | 8   |
| 大東      |     | 1      | 1   |
| 大東中央    |     | 1      | 1   |
| 高槻      |     | 3      | 3   |
| 高槻東     |     | 2      | 2   |
| 高槻西     | 1   | 2      | 3   |
| 大阪中央    |     | 15     | 15  |

| クラブ名        | 青少年 | ロータリアン | 登録数 |
|-------------|-----|--------|-----|
| 大阪ちゃやまち     |     | 1      | 1   |
| 大阪鶴見        |     | 3      | 3   |
| 大阪天王寺       | 1   | 3      | 4   |
| 大阪天満橋       | 1   | 5      | 6   |
| 大阪堂島        |     | 1      | 1   |
| 大阪東南        | 2   | 1      | 3   |
| 豊中          |     | 3      | 3   |
| 豊中南         |     | 3      | 3   |
| 豊中-大阪国際空港   |     | 1      | 1   |
| 豊中千里        |     | 3      | 3   |
| 大阪中之島       | 3   | 30     | 33  |
| 大阪なにわ       | 1   | 34     | 34  |
| 大阪南西        | 39  | 24     | 63  |
| 大阪難波        | 5   | 30     | 35  |
| 大阪西         | 1   | 0      | 1   |
| 大阪ネクスト      |     | 1      | 1   |
| 寝屋川         | 1   | 3      | 4   |
| 大阪阪南        |     | 3      | 3   |
| 大阪東         |     | 3      | 3   |
| 東大阪         | 3   | 3      | 6   |
| 東大阪中央       |     | 2      | 2   |
| 東大阪西        |     | 3      | 3   |
| 東大阪東        | 3   | 3      | 6   |
| 東大阪みどり      |     | 3      | 3   |
| 大阪東淀        | 4   | 2      | 6   |
| 枚方          | 2   | 3      | 5   |
| 大阪平野        |     | 3      | 3   |
| 大阪フレンド      |     | 7      | 7   |
| 大阪本町        |     | 12     | 12  |
| 大阪御堂筋       | 2   | 15     | 17  |
| 大阪南         | 1   | 30     | 31  |
| 箕面          |     | 10     | 10  |
| 箕面中央        |     | 1      | 1   |
| 守口          |     | 3      | 3   |
| 守口イブニング     |     | 3      | 3   |
| 八尾          |     | 3      | 3   |
| 八尾中央        |     | 3      | 3   |
| 八尾東         |     | 3      | 3   |
| 大阪ユニバーサルシティ |     | 1      | 1   |
| 大阪淀川        |     | 4      | 4   |
| 大阪リバーサイド    |     | 3      | 3   |
| チームライラ      | 9   |        | 9   |
| 合 計         | 89  | 539    | 628 |



## 2009年春のRYLA 収支決算報告書

| 収入の部             |           |
|------------------|-----------|
| 地区よりの補助金         | 2,200,000 |
| 秋のライラ繰越金         | 299,061   |
| ロータリアン登録料 (539名) | 3,238,000 |
| 初級ライラ登録料 (89名)   | 712,000   |
| 合 計              | 6,449,061 |

| 支出の部              |           |
|-------------------|-----------|
| 会場費 (大阪リバーサイドホテル) | 3,504,310 |
| 活動費               | 1,744,512 |
| 印刷費               | 632,400   |
| 諸会合費              | 254,102   |
| 保険料               | 102,600   |
| 国際ライラ活動補助金        | 200,000   |
| 繰越金               | 11,137    |
| 合 計               | 6,449,061 |



## 編 集 後 記

---

創立25周年の年に、しかも会員数が20名余りという中で、春のライラを実行するにあたり、不安だらけの日々でした。それに追い討ちをかけるかのような、アメリカ発リーマンショックによる100年に一度の金融危機。様々な困難を乗り越え、初めての都市型ライラが成功できたのも各ロータリクラブの皆様の友情と青少年奉仕活動に集う地区のチームライラ、ローターアクト諸君達若い青年の思いやりに富む情熱の賜物です。おかげさまでロータリー会員の登録539名、青少年参加89名という盛大なライラを事故もなく、無事催すことができ大変感謝しております。

我々クラブの実情にあわせたライラということで交通の便の良い大阪市内のホテルを使うことには、費用や風紀等で色々ご意見も出ました。そこで歴史の色眼鏡を通して観るとこの大阪が大坂だった時、近代のケチでがめつい大阪商人とは異なり、江戸時代の大坂商人たちが世界に誇るべき商業ルールをすでに確立させており、そのモラルは今日のロータリーの奉仕の精神の先駆でもあったことが分かりました。そこで基調講演に「懐徳堂」を切り口にした江戸時代の大坂商人の知的水準と精神（道徳）が高かった、ということをお話いただきました。第2660地区のロータリアンにとっては新しい大阪の発見だったのではないのでしょうか。また、落語会では、これも大阪大学出身林家染雀師匠の船場の由来とそこの商人の生活を「千石みかん」と「百年目」の話を通じて分りました。大川クルージングと重要文化財「泉布観」の見学は、ベニスやパリといったヨーロッパの観光都市に比べ大阪が川から見た景観が貧弱で、目玉になる建物の管理方法について色々問題があることを考えさせられました。チームライラが企画したフォトラリーは素晴らしいプログラムで、発表会での盛り上がりと質の高さにライラの意義と目的を改めて確認しました。

最終日の課題発表も各班独自の表現が出ており、3日間という短い時間にも拘らず、国籍や言葉の壁を乗り越え、1つの目的に一丸となって取り組む若い人々の姿に参加した私たちクラブの会員、家族共々に大きな感動を与えてもらいました。「ライラ」は実際運営してみるのとみないのとでは雲泥の差があると思います。私たちは、ライラが行われる度にチームライラ、ローターアクトの諸君の活躍を思い出しながら、微力ながら貢献できることが、2009年春のライラに協力いただいた皆様に対してのお返しかと思っています。

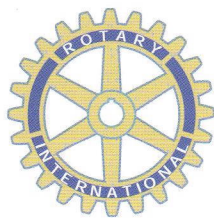
本当にありがとうございました。

大阪南西ロータリークラブ・春のライラ実行委員長 小 森 敏 鑑

---







## 大阪南西ロータリークラブ

〒556-0014 大阪市浪速区大国1-3-20 居仁ビル3階3B

TEL : 06-6643-8721 FAX : 06-6643-8722

E-mail : nanseirc@poppy.ocn.ne.jp